



只見町ブナセンターだより

<ごあいさつ>

只見町でこの冬最大となった積雪深は、2月に記録された309cmでした。3mを超える積雪は平成27年以来6年ぶりとのことで、久々の豪雪の只見となりました。ぶ厚かった雪も近頃の陽気でどんどん消え、まずはじめにユビソヤナギが咲き、今はフクジュソウやカタクリなどの春植物が咲き始めています。新型コロナウイルスで私たちの生活は大きな影響を受けていますが、自然の世界は力強く季節を移ろっているようです。スタッフ一同なかなか多くの皆様にお会いできないことを残念に思っていますが、この状況の中でも只見の貴重な自然を守り、そして、その素晴らしさを皆様にお伝えできるよう活動して参りたいと思います。まだまだ耐え忍ばなくてはならない状況が続きそうですが、新しい年度も引き続き、只見町ブナセンターへのご理解とご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

===== 開 催 中 =====

【企画展アーカイブ】

只見の春植物とその生活史

雪解け時期の只見町では、フクジュソウやカタクリ、キクザキイチゲなどの春植物が山裾や人家周辺、道端で大きな群落をつくり、野山を色鮮やかに彩ります。春植物は早春に花を咲かせ、種子を散布すると、夏までに地上部は姿を消します。一年の間でわずかな期間しか見ることができませんが、ブナ林や雪食地形とともに只見を代表する自然景観です。

本企画展は、昨春も開催しましたが、オープン直後に新型コロナウイルス感染防止のため臨時休館となってしまう、皆さまには十分にご観覧いただくことができませんでした。その企画展を改めて開催し、只見町で見られる春植物の生活史や生育環境について紹介します。

■会 期：2021年4月3日(土)～5月31日(月)

■場 所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー



【ブナセンター友の会写真展】

只見の自然と暮らしを撮る

只見町の自然や文化の魅力をよく知るブナセンター友の会会員やその家族、また、只見高校生が撮影した写真、さらに、家族も忘れかけている古いアルバムの写真など、豊かな自然やその中で暮らす人々の生き生きした表情をお見せします。プリントされた約 500 枚の写真を会場いっぱいに表示しております。観覧は無料ですので、お誘いあわせのうえ、ぜひお気軽にお越しください（常設展や企画展の観覧には入館料がかかります）。



■会 期：2021年4月10日（土）～ 2022年3月31日（木）

■場 所：ただみ・ブナと川のミュージアム 休憩室

==== 行 事 案 内 =====

【自然観察会】

春の花と新緑のブナ林観察会

毎春恒例・春の自然観察会のご案内です。新型コロナウイルス感染拡大対策として、例年より少人数の先着 15 名限定とさせていただきます。余名沢で見られる春植物や、癒しの森のブナの芽吹きを通して、只見町の本格的な春の到来をご体感いただけます。皆様のご参加をお待ちしております。



	春の花観察会	新緑のブナ林観察会
開催日	2021年5月2日（日）	2021年5月3日（月・祝）
観察場所	余名沢周辺	癒しの森
集合時間	13:00	9:00
集合場所	季の郷湯ら里 駐車場 (只見町長浜上平 50 深沢温泉)	癒しの森 駐車場 (県道 352 号線沿い 松坂峠)
解散時間	16:00 ごろ	12:00 ごろ
お申込み	電話 0241-72-8355 までご連絡ください お申込みの締め切りは 4月29日（木）	
参加費	高校生以上 500 円 / 小・中学生 400 円 / 町内在住の小・中学生・高校生 200 円	
持ち物	長靴、雨具、マスク、飲み物、軽食	

===== 活 動 報 告 =====

【只見ユネスコエコパーク関連事業】

令和 2 年度「自然首都・只見」学術調査研究成果発表会

2月13日（土）～3月31日（水）

「自然首都・只見」学術調査研究助成金事業は、ユネスコエコパークに登録された只見町の自然環境・生物多様性や民俗・歴史の調査研究に取り組む大学、研究機関等に町が助成を行い、それらの科学的評価を行うとともに、只見町の新たな価値の発見、各研究機関との交流の推進、研究成果の活用を図ることを目的とした事業です。助成を受けた研究者らによる調査研究の成果は、発表会を設け、町民の方々などに向けて報告いただいております。令和2年度は、6名の研究者（グループ）が助成金の交付を受け調査研究を行いました。今回の発表会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各研究者に発表動画を作成いただき、インターネットなどを利用して公開する形で開催いたしました。動画の平均視聴回数は約84回、合計視聴回数は505回でした。

まず、植物の生態に関して、只見町木ノ根沢におけるゼンマイの分布と個体群構造を明らかにした研究成果が報告されました。次に、植物が持つ生活習慣病を予防する機能について、桑葉及びフキがもつ糖質消化酵素阻害作用に対し、加熱調理加工が与える影響に関する報告がありました。動物に関しては、クロサンショウウオ幼生の大顎化がどのような要因で発現するのか、血縁関係による要因と幼生の体サイズの違いによる要因を検証した報告がありました。

只見町の伝統知については、野生植物の食に関わる地域知の保有状況や、摂食経験等についての研究、さらに、只見町の古民家の材料となった樹種や建築的な特徴、建材として用いられていたキタゴヨウの森林構造を明らかにした研究成果が報告されました。最後に、衛星リモートセンシング技術とAIを用いて、只見町における最新の植生分布現況を表す植生図の作成を行った成果報告がありました。

===== お 知 ら せ =====

【動画紹介】

現在開催中の企画展アーカイブ「只見の春植物とその生活史」のトピックを6本の動画で紹介しております。ご自宅でも企画展の雰囲気をお楽しみいただけます。

【只見の春植物とその生活史】 予報 ～ 第 5 回



予報



第 1 回 只見の春植物とその生活史



第 2 回 フクジュソウの生活史



第 3 回 カタクリの生活史



第 4 回 キクザキイチゲと送粉昆虫



第 5 回 最終回

只見町ブナセンター 2021 年度行事一覧 (予定)

月	企画展	自然観察会
5月	・4月3日(土)～5月31日(月) 企画展アーカイブ「只見の春植物とその生活史」	・5月2日(日) 春の花観察会 ・5月3日(月) 新緑のブナ林観察会
6月	企画展アーカイブ「ヒメサユリのすべて」	・初夏のブナ林観察会
7月		
8月		
9月	企画展「只見のブナ林の昆虫」	

＜編集後記＞ 高く積もっていた雪もとけ始め、地面が見えるようになってきました。生きものが活発になる季節が目と鼻の先に来ています。ただみ・ブナと川のミュージアム周辺でも既に、越冬明けのキアシナガバチの女王やオトビサシガメなどといった春の到来を知らせてくれる生きものが姿を見せ始めています。今年はどのような生きものの営みに出会えるのか、期待に胸が膨らみます。今年は昨年以上に町内を駆けずり回り、日々生きものを観察していきたいと考えております。得られた成果は企画展や観察会で皆様にお伝えしますので、ご期待ください。(吉岡)

発行 只見町ブナセンター 〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下 2590 番地



只見町ブナセンター

電話 0241(72)8355

ホームページ <http://www.tadami-buna.jp>

FAX 0241(72)8356

電子メール info-buna@amail.plala.or.jp

Facebook <https://www.facebook.com/tadami.buna>

附属施設「ただみ・ブナと川のミュージアム」、「ふるさと館田子倉」

開館時間：午前 9 時～午後 5 時（最終受付は午後 4 時まで）

休館日：火曜日（祝祭日の場合は翌平日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

入館料：高校生以上 310 円 小・中学生 210 円 未就学児無料（20 人以上は団体割引）